

第 20 回いけだ夢燈花 命のストーリー

4th September 2021



主 催：第 20 回いけだ夢燈花実行委員会
主催事務局：特定非営利活動法人北摂こども文化協会

命のストーリー

今年の6月、第1子となる女の子を出産した。性別が分かった時から女の子ならお花の名前にしたいと思い、菫と名付けた。

初めての妊娠、出産。母親であればきっと誰もが経験することであるが、今はコロナ禍という中で改めて命の尊さや人と人との繋がり大切さを実感した妊娠、出産だった。

先の見えないコロナ禍の中で、菫をお腹に授かったと分かった時、希望の光のように思えた。

十月十日。長いようで短い。振り返るとかけがえのない時間だった。

人一倍体調に気をつけ、「一緒に頑張ろうね」。お腹に話しかけた。

毎日感じていたしゃっくり、話しかけると元気に動き回る菫。

今、泣いたり笑ったりしゃっくりしたりする我が子を見て日々の何気ない時間こそが本当の幸せだと感じる。

出産は面会・立ち会い一切禁止だったが、その時間を埋めるかのようにいつも助産師さんたちが寄り添ってくれた。

行動に制限されているからこそ、人と人との繋がりを大切にしたいと強く思えた。

今、我が子を見て思うこと…

生まれてきてくれてありがとう

幸せな気持ちにしてくれてありがとう

元気に育ってくれていてありがとう

娘が私に与えてくれているありがとうの気持ち。

これからは私が娘に届けていきたい。

川西市在住 20代 女性

命をいただく

今日、みなさんが食べた物って何ですか？

野菜ですか？ 肉ですか？ 魚ですか？

どれも命ですよ。

切ったり、加熱したりして、人間の体内に入っていく。

人間が活着ているのは、命のおかげ。

命命を助けているんですよ。

互いに人間たちを助け合う時と、食べ物に助けてもらっている時、

それ以外の方法でも助けてもらっている。

でも食べ物が1番身近だと思う。

そして1番ムダにされやすいと思う。

捨てるも、料理は何も言わないから。

今もどこかでおなかがすいて、困っている人がいると、みんな知っているはずなのに。

知っているなら 食べよう。

食べれる量で、残さず食べよう。

命だから。命はムダにしてはいけないから。ムダにしたら、どこかのだれか、またムダになる。自分のために、だれかのために、食べ物のために。

大切に命をいただこう。